

(2025) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(川岡東) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	帰宅時の安全指導 手洗い・うがい・消毒 ハンカチ・ティッシュの携帯 環境設定に関する安全確認・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの2週間は集団帰りの町別ごとの帰宅コースを職員も付き添い、安全を意識するよう指導する。上級生が下級生を見守りまとまって帰宅してほしいが、言うことを聞いてくれない、自分勝手な行動をする子がいると度々相談を受ける。その都度話を聞きながら、落ち着いて帰宅できるグループ分けを行った。グループ内のお互いへの配慮、全員の安全への意識を徹底するために継続的な指導が必要。 ・図書室で職員が目を離れた際のたたいたり蹴ったりのトラブルが多いので防犯カメラを設置。
	健康の管理・情緒の安定	お弁当、おやつ等食事のマナー・片付け指導	
	基本的生活習慣の確立	あいさつ 掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・登館、降館時は「おかえり」「さよなら」と常に声をかけると同時に、子どもの様子も確認する。学童以外でも子どもが自然と自ら挨拶できるように今後も声かけをしていく。保護者への入退室を知らせるウェブさくらでのタッチ操作は、おやつや帰宅方法の管理も兼ねて、徹底して行った。 ・児童館の清掃を夏休み限定で当番活動として班ごとに実施。日替わりで掃除場所を変え、日頃使っている児童館を真面目にきれいにしてくれる子がほとんどで感心した。 ・おもちゃや自分が使ったものの片付けは毎日の課題だった。どうしたら片付けやすいか、収納方法・場所の改善を繰り返した。特に図書室は本が散らかっていることが多く、一斉に片付けをするタイミングで、他の子が片付けをしてくれることがよく見受けられた。
	社会生活技術の獲得	避難訓練・防犯教室 宿題支援・留守番・安全確認・危機管理 言葉遣い・片付け など	<ul style="list-style-type: none"> ・入会直後の1年生に防災の紙芝居、警察の方による防犯教室を行い、自分の身の安全の守り方を学習する。児童館で災害が起きた時の避難指導の訓練だけでなく、子ども企画のクイズやあそびを通して楽しんで学ぶこともできた。12月にはたくさんの協力団体と開催した防災フェスタ、3月には乳幼児さんと一緒に防災・減災アドバイザーの方のお話を聞いたり、桂川園さんにお誘いいただき非常食の試食体験にも参加。様々な方法で防災への関心を持つ機会が作れた。 ・日々の宿題の声かけや使ったものの片付け、自分で過ごし方を決めるなど、学童修了後の生活を基据えて自立した生活を送れるようにしていく。 ・悪い言葉遣いや暴力・奇声など相手を不快にさせる、傷つける行為には強く指導している。子ども同士でトラブルを解決できることは良いことだが、困ったときは先生をすぐに頼るよう常に伝えている。
子ども育成機能	生活体験の拡大	だがしやさん こどもまつり 夏のおでかけ お別れ遠足 児童館事業の各種取組・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・館外保育は8月と3月に2回実施。夏のお出かけは堺のビッグバン、たくさんの人が使う施設のルールを守り、興味をもって色々な体験ができた。しかし、バスの往復でトイレが我慢できない子もいて携帯トイレを利用した。 ・9月の児童館こどもまつりでは、有志で旗ダンス、コマ、けん玉い手玉ダンスを披露。夏休み中に練習を重ねた。発表したのは有志の子たちだが、練習は最初全員で始める。発表など普段は積極的に参加しない子にも挑戦できたきっかけとなった。のちに桂川ふれあいまつりややんちゃフェスタでも発表した。 ・お別れ遠足はレゴランドへ行き、自分たちでグループ決めて自由行動する。最後に学童での楽しい思い出を作る。 ・子どものやりたい！を大切に、子どもが企画から実行まで行う機会を今年度は積極的に取り入れた。なかでも、毎月の誕生日会では司会からクイズや質問の内容を考えるまで、自分がお祝いしてもらおう立場も知っているからこそ、色々アイデアを出し合って盛り上げてくれた。
	社会性の養成	自立の促進と自主性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会など集団で話をする際、当番で前に立って話すのは張り切って頑張ることができるが、聞く側になると態度が悪かったり、聞けないことが多く目立った。座ることができない子、妨害をする子には無理に参加させても周囲に被害ももてて別室ですごさせたり、早く帰らせた。 ・勤労感謝の日に合わせてフォトフレームに絵をかいての手作りをした。感謝の気持ちを持つこと、表すことを考える取組となった。 ・みんなあそびでは、集団の協力、あまり遊んだことのない子同士の関わりなど、集団だからこそできることを考えて遊びを設定する。しかし、ルールが複雑であったり説明がわかりにくいと集中できなくて集団からはなれてしまったり、邪魔をしたりする場面がみられるので内容の検討が必要。
	入会式・誕生日会 (毎月) ・修了式 班活動 子ども企画の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会・入会式・修了式では、子どもが主役になれる晴れの場所とし、子ども自身が節目を感じられる取組とした。入会式では、2年生以上から新1年生へダンスの発表、歓迎の言葉、キャンディレイの贈呈をする。修了式では卒会者に修了証書を授与。1年間の写真をスライドショーにし、自らの成長を感じ振り返る時間となった。夏の懇談会では、親子でのあそびの交流会、冬にはおやつを試食会をおこない学童保護者・親子同士の貴重な交流の時間となった。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会 個人懇談 入会説明会 学童アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会は夏と冬に2回実施。冬には学童保護者・子どもにアンケートを実施し、さくらdaysアプリにて報告した。 ・夏には希望者のみの個人懇談を実施。ゆっくりと学童や家での子どもの様子をお話することができ、お互いに安心と理解を深める時間となった。 ・入会説明会では、保護者が説明会に参加している間、新1年生には学童体験として一緒に遊びたいおもちゃを考えた新2年生以上と遊び、お互いに緊張しながらも楽しい時間が過ごせた。入会前に1年生が最初に過ごす分室の場所や雰囲気を知ってもらうことができた。
	子育ての仲間づくり	お迎え時の保護者同士の談話	
	子育てを支えるネットワーク形成	※こどもまつり・防災フェスタ等の児童館行事の 保護者への協力・参加依頼 学童クラブだより配布 メール配信 はいチーズ公開 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度学童だよりを配布し、取組のスケジュールと子どもたちの様子の写真を掲載することで、学童の様子を伝えた。アプリの方でもスケジュールのみの紙面を掲載し、いつでも確認してもらえるようにしている。子どもたちは自分の写真が載っているかを毎月楽しみにしており、おたよりをきちんと持つて帰ることの効果にもなっている。 ・毎週土曜日にメール配信を実施し、連絡事項、おやつ献立等をお知らせした。学童クラブの様子については、「はいチーズ」のシステムを利用し、インターネットでの写真掲載も行った。紙面の制限なく、子どもたちの楽しい様子を伝えることができた。 ・小学校や保育園等と連携し、情報交換、協議を行った。各機関で子どもたちに対してできることを認識でき、支援の質の向上につながった。今後も定期的に話し合いができるようにしていく。